

SLA通信

第36号

〒460-0024
名古屋市中区正木1-2-8 互助会ビル4F
(財)シニアルネサンス財団内
☎052-332-7883

テーマは「つどい」

中部シニアライフアドバイザー協会
会長 今泉 治子

わが国の65歳以上の老年人口の割合が21.3%に達し、イタリアを抜いて世界で最も高くなったことが、総務省が発表した2005年国勢調査の抽出速報集計結果で明らかになりました。長寿社会において、私たちSLAが担う役割は多く、会員の皆さまも各方面でご活躍のことと拝察いたします。

さて、既に、「SLAのつどい」のはがきでもご報告しましたが、今年度の会長を因らざるもお引き受けすることになりました。平成13年度に続き2度目の登板ですが、どうぞよろしく願いいたします。

中部圏で暮らすSLAにとって、中部SLA協会は基地のような大切なところです。その協会に活力を与えようと、昨年1月、活性化委員会が立ち上がりました。昨年度は「愛知万博と全国SLA協会交流会」「中国研修旅行」とタイムリーな企画が実施され、好評でした。今年度は、「いきいきシニア健康講座」がシリーズで開催中ですが、参加者も多く、和やかな雰囲気講習会になっています。これらの行事を通して、わずかながら活性化に向けての明るい兆しが感じられ、心強い思いがいたします。

今年の協会のテーマは「つどい」。学び、話し合い、食べ、旅をする・・・いろいろなかたちの「つどい」を通して、コミュニケーションの場を作っていく予定です。その第1弾として、6月29日、「SLAのつどい」を開きました。「講演」を引き受けていただいた後藤良さんは話し運びの上手い方で、「金融・投資の概要」をシンプルにまとめてお話しいただきました。中島衣代さんの「脳トレーニング」では群読に挑戦。声を出すことが健康にいいといわれている今日、「SLA活動として、発展させていきたい」という声もありました。そして、座談会。協会を思う気持ちは同じでも、思いのカタチはそれぞれ。多くの有意義な発言が飛び交い、活気ある会になりました。

今後も、協会が私たちにとってよりよい方向に向かうよう、活性化委員会と連携をとりながら、意欲的に取り組んで参りたいと思います。会員の皆さまには、ともかく協会のイベントにはできる限り足を運んでいただきますよう、切にお願い申し上げます。



平成 17 年度通常総会報告

実施日：平成18年4月22日(土)

場 所：伏見ライフプラザ12F なごやボランティア・NPOセンター集会室

会員数：78 出席者数：22 委任状数：34

定足数に達し成立いたしました

議 長：保坂正子

記録者：加藤恭子 山下可子

- 議 事：第1号議案 平成17年度活動報告
第2号議案 平成17年度会計報告
第3号議案 平成17年度会計監査報告
第4号議案 平成18年度活動計画案
第5号議案 平成18年度予算案
第6号議案 平成18年度役員候補者

以上6議案すべて承認されました



平成17年度通常総会 第2部 講演「認知症について」 講師 塩野高子さん (SLA 会員)

平成17年度通常総会后、SLA3期生、塩野高子さんによる研修会が開催されました。要介護者の半数以上に認知症の影響が認められる昨今、高齢者介護は認知症高齢者対応が必要です。

認知症のさまざまな具体例(症状)や、接し方などスライドを見たり、状況が目の前に浮かぶようなお話を伺いながら、誰でもかかる可能性のあるこの病気を正しく理解し、また認知症の人や家族が安心して、心豊かに暮らせるよう地域で支えあっていく事の必要性を知らされました。

心に残った事の一つに、認知症の人と接する上で大切な事は、「優しさ」ということ。認知症の人の心の中を理解し、物忘れ、失禁、幻覚、妄想、徘徊などさまざまな問題行動に対して決して叱るような物言いはせず、自尊心を傷つけないように、気持ちを楽に出来るようにあたたかく接する事の大切さを学びました。

行政や企業とも協働し、多くの方が認知症サポーターとして地域社会を支えていけたらと思いました。

(文責 黒須 由紀子)



「SLAのつどい」報告

4月の総会后約2ヶ月が過ぎ、今年度最初のSLAの会合が、会員18名の出席を得て開催されました。空模様は梅雨空であったが、会場内は活気ある討論で予定の時間がまたたく間に経過しました。

- ◆ 日時 6月29日(木) 1:00~4:30
- ◆ 場所 なごやボランティア・NPOセンター集會室
- ◆ プログラム

第1部	研修会 『安全・快適 シニアライフ』	講師	後藤 良 (SLA会員)
第2部	脳トレーニング	指導	中島 衣代 (SLA会員)
第3部	座談会 『協会のこれから』		



今泉新会長の挨拶からスタートし、全体司会の黒須さんにより、1部から3部まで予定通り順調に進行しました。



〈1部 研修会〉

金融資産の多くはシニアが所有しており、国の施策は資産運営を「貯蓄から投資」へスタンスを変えている。移行過程では金融、投資の概要知識が必要になってくる。

また、悪意をもった業者もこのチャンスを逃さず、不当な利得を狙い、無差別に攻勢をかけてくる。一般的な知識、被害事例を身に付けることにより、適切な判断や身近な人へのワンポイントアドバイスができ、研修を通じて自己防衛力が高まることを狙いとして開催された。

消費者問題に関するクイズや講師から質問の投げかけもあり、やや難解な用語をクリアしながら、利殖、投資の消費者トラブルをマスターすることができた。

〈2部 脳トレーニング〉

中島衣代さんの話術と群読のペースメーカーよろしく、参加者の脳は一瞬に若返り、僅か20分の時間であったが、本日の会合で最も盛り上がりを見せた。

群読はテンポ遅れの人(小生)もいたが、一部の人の力強い発声のリードもあり、全体が調和され、大合唱の中、無事終了した。

〈3部 座談会〉

木村利行さんからSLA協会の活動の概要説明を行い、主だったテーマについて、出席者から全体の立場、自己の立場から活発な意見がだされた。

意見、討論の概要

- ① 会員数の減少・・・新会員の養成
現時点会員数が75名に減少しているが、会への出席者は以前より固定化しており、実質的にはあまり変わっていない。少数精鋭の傾向にある。この実態を踏まえ、今後、新会員の養成について討論が行われた。
- ② 地域部会の活性化
名北部会、尾張部会、岐阜部会で活動されているが、人が中々集まらない。
代表や、一部の人の出席ではなく、多数の人が参加できる場作りが必要である。
- ③ 有効活用ができる名簿の作成(個人情報保護を考慮)
会員自身が何(専門スキル、趣味・・・)ができるか。また、参加できる活動事項を事前に登録する。その情報を元に活動の糸口を見つけ、全体及び地域部会の活性化につなげる。
- ④ 他
実現できる複数の企画を模索し、会員を募り、有志で展開する。
EX: パソコン指導、ボランティア活動、・・・

SLA協会の活性化は会員の主体的な活動の積重ねによって前進いたします。これからも行動と意見・アイデアを出し合い、活動のともなった会を目指します。

いきいきシニア健康講座



会員の皆さまからのご要望にお応えして、平成18年5月から、上記の講座を5回シリーズで開催しています。講師として、「いきいきシニア健康のツボ」の中村勝先生をお招きして、心身ともにリラックスし、健康でありたいと願う気持ちから、毎回楽しく有意義な時間を過ごしています。

東洋医学の中核をなしている「陰陽五行・ツボ・経穴」についてのお話と実践、私達は体験を通して、健康で充実した人生が約束されているような気持ちで参加しています。

講座は3回終了しましたが、下記の通り、まだ2回あります。途中参加も歓迎しますので、興味のある方は是非参加してください。お待ちしております。

- ◆ 実施日 平成18年8月23日(水)・9月20日(水) 午後1:30~3:30
- ◆ 場 所 なごやボランティア・NPOセンター (伏見ライフプラザ12F)
- ◆ 会 費 会員1回300円 非会員1回500円
- ◆ 連絡先 今泉 治子 TEL・FAX 052-722-1280
浅野 澄子 TEL・FAX 0568-22-1487

途中参加も
どうぞ!!



毎回、丁寧な個別指導で、盛り上がっています

平成18年度幹事会役割分担一覧

幹事会	担当		
会長	今泉 治子		
副会長	中島 衣代	木村 利行	
総務	武藤 まさよ	黒須 由紀子	
研修	後藤 良	中島 衣代	
渉外(電話相談)	今泉 治子	木村 利行	武藤 まさよ
広報(SLA 通信)	今泉 治子	木村 利行	後藤 良
活性化委員会	中島 衣代	木村 利行	武藤 まさよ
会計	黒須 由紀子	後藤 良	
監査	長坂 朋子	小山 静子	

会長 今泉 治子

5月はじめ、前会長の浅野澄子さんから引継ぎを終え、まずは名簿の整理をいたしました。会員総数75名。会費の納入状況から鑑みると、この先も会員の減少は避けられない状態にあり、寂しい感じがしました。

でも、在籍されている一人ひとりのお名前を確かめていくうちに、この地域に暮らすSLAとして、中部SLA協会を大切に思う方々の名前は間違いなくそこにあることを知りました。かつてのような派手さはなくても、まとまりのある心の通い合う協会を目指して、手を携えあって活動の充実を図っていきたいと思います。

副会長 木村 利行

中部SLA協会活性化委員会が発足して1年半になりますが、現在は中部SLA協会の存亡をかけた取り組みの時ではないかと考えています。各位の底力を結集しましょう！！

副会長 中島 衣代

平成16年4月の会員アンケートの実施を機に協会の活性化が進められてきております。昨年度は大きく歩みだした年でした。

私も活性化委員会の中で協会の応援をと思っておりましたが、少数運営となり今年度は幹事会に入ることになりました。

6月29日の「SLAのつどい」でも活発な意見が出ました。「健康講座」も多数の出席者でよい交流になっております。協会の歴史と共に歩んで来られた方々、通信講座での新入会の方々の声を反映させ、会員のための意義ある楽しい協会になっていきますよう協力してまいりたいと思っております。



中島 武藤 黒須 後藤 今泉 木村



研修 後藤 良

なにも取り柄はありませんが、ポヤーと社会を観察することが好きです。新聞の読み方にも変化が出ており、生活欄に自然と目がいくようになりました。特に、夫婦の微妙なやりとりのコメントに関心を惹かれます。

総務 武藤 まさよ

人の優しさは世間の路端に咲く花だと思う。50歳、60歳過ぎて咲く花は美しい。—中略—若い内は花を咲かせるのではなく、葉を繁らせる努力をすればいい。莖を大きく、根を深くするのもいい。焦るな、いつかは咲く、気持ちの花だ。この文章は、私の好きな「風の大地」巻末に掲載されている作者が思いをこめて書かれた一節です。“60歳を過ぎて咲く花は美しい”と言われる人生を送りたいものです。

申し遅れましたが、この4月から幹事の端に仰せつがっている武藤と申します。先輩の皆様方のご支援、ご協力により役目を果たしていきたいと考えていますのでよろしく願いいたします。

会計 黒須 由紀子

最近「世界がもし100人の村だったら」の著書に接しました。

世界にいる65億人の人を100人の村に縮めるとどうなるか、人種、性別、年齢構成、人口分布、宗教、語学、貧富差、教育程度、エネルギー、食糧などさまざまな分野から分析しています。

その中でやはり気になったのは、年齢構成や貧富差など…。

先日の新聞でも2005年の国勢調査で日本は「少子高齢化、イタリアを抜いて世界一！」の記事が踊りました。

今、私たちに出来る事は何かを真剣に考え、シニアや高齢の人々を奮い立たせるような事ができればいいですね。

申し遅れましたが今年度、会計を担当させていただきます。我が家のやりくりすら、はちやめちやなののに、大事な協会の財政を運営できるか心配です。皆様、お目付役とご指南役よろしく願いいたします。

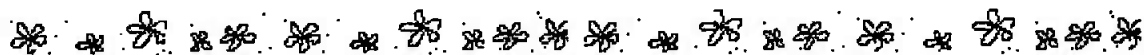
名北部会 親睦そぞろ歩き “歴史と文化の薫る街岡崎”へ 5月18日(木)

今回の例会は、長坂朋子さん高梨泰子さんのお力添えで、お住いに近い岡崎へ足を延ばしました。

名北部会 8名に加え 4名の会員の方にも参加していただき、まずは、新緑の美しい岡崎公園内の老舗料亭「八千代」で、なめし田楽などの郷土料理を堪能。味もよく、和気藹々と楽しい時間を過ごしました。

つづいて、NHK 朝のドラマ「純情きらり」の舞台になった八丁味噌の郷(カクキュー)へ。登録文化財に指定されている蔵などをガイド付きで見学すると、最後に八丁味噌のプレゼントがありました。その後、誰もが売店で思い思いのおみやげを求め、幸せ気分で帰路に着きました。

秋には、また、美味しいものを食べに集まりましょう。



尾張部会 今年度の活動予定

代表 田中芳雄 会員 13名

今年度最初の総会を 参加者 6名で 6月17日 加藤 愛佐子さんのお骨折りにより小牧のメナード美術館を見学し、その後アピタで昼食を取りながら、有意義にだべり、食後の散歩ついでに小牧城に登りコミュニケーションを深めました。

今後の計画 10月 名鉄本線沿線(奥山裕子さん) 19年5月 津島線沿線(小幡淳子さん)で計画。

尾張部会会員以外のSLAのみなさんもふるって参加してください。

中部シニアライフアドバイザー協会 インフォメーション

新会員紹介 よろしく!

自己紹介

シニアライフアドバイザー 長谷川 浩子

今年4月より、中部シニアライフアドバイザー協会に入会させていただきました長谷川でございます。一昨年3月退職いたしまして、油絵教室に通ったり、農家から畑を借りて野菜作りを始めたりしていたのですが、元気なあいだにボランティア活動にも参加したいと思ひまして、SLA養成講座を受講いたしました。

これからは、先輩の皆様方のお仲間に入れていただき、ボランティア活動を通じて社会に参加できればと考えております。よろしくお願ひ申し上げます。



「SLAのつどい」で自己紹介



会員名簿発行についてのお知らせ

重要!

中部 SLA 協会では、平成 13 年 4 月 1 日以来会員名簿が発行されていません。

この間、入会された方、退会あるいは休会された方など、移動も多くありましたが、会員の皆さまには情報が届くこともないままに、今日に至っております。

会員名簿の発行を望む声も多く、6 月 29 日の「SLA のつどい」でも、在籍者名簿の発行をとの発言がありました。幹事会では、現在、名簿発行に向け、準備をはじめております。

つきましては、掲載を希望されない方は、下記までご連絡を頂きましたら「不掲載」として処理したいと考えています。また、お手数ですが、SLA 通信を送付した封筒の宛先をご確認いただき、訂正がある場合も、ご連絡をお願いいたします。なお、記載内容につきましては、従来通り、住所・氏名・電話番号を予定しておりますが、ご意見等ありましたら一報をお願いいたします。

連絡先 〒464-0006 名古屋市千種区光が丘 2-9-33 今泉 治子 FAX: 052-722-1280

自分史「古希」を出版 丹羽一夫さん

「楽しむ、学ぶ、役立つ、シニアライフ」など、6 冊の本を書かれている丹羽一夫さんが、古希を記念して、自分史を出版されました。気負いのない語り口にさわやかな丹羽さんの人柄がうかがえ、読む人の心を捉える作品です。

「第 4 部同人誌に寄稿した私の思い」では、レポート「シニアライフアドバイザーへの道」と題して、SLA の紹介と丹羽さんの SLA としての活動が掲載されています。養成講座「通信講座」についても、受講資格審査から資格取得までの過程が、ご自身が提出された論文を含めて詳しく述べられています。また、ふとしたことで SLA を知り、シニアルネサンス財団に電話をしたところ、「この資格はお金になりませんよ」との事務局長の開口一番の一言に驚き、逆に興味をひかれたのが資格に挑戦するきっかけになったとのエピソードも。

そのほか、「同じ病気で苦しむ人たちにとって、生きるヒントになれば」と書かれた「がん闘病記」、ライフワークの美術館・博物館めぐり、人物写真、俳句など、盛りだくさんの内容です。



シニアルネサンス財団 SLA 養成講座<通信講座>とは・・・

中部 SLA 協会には、現在、通信による SLA 養成講座を受講されて、SLA 資格を取得された 6 人の方が在籍されています。

シニアルネサンス財団の通信講座は、「テキストによる自宅学習」「スクーリング」「体験学習」から構成されています。

講座の受講は、論文による第 1 次審査、電話インタビューまたは E メールによる質疑応答で、「SLA の役割を正しく理解し、活動ができるか」を問う第 2 次審査を終えて後に、受講資格が得られます。受講料は 58,000 円。

詳しくは、財団ホームページに掲載されています。

財団ホームページアドレス <http://www.sla.or.jp/>

SLA 通信に掲載する情報をお寄せください。

会員の皆さまの出版された書物、個展、ボランティアの会への参加協力募集など、情報をお待ちしています。

和わ輪



梅木 房子

吾がまち、多治見市が夏になると一躍有名になること、それは日本一気温が高い場所とテレビ、新聞等で報じられることである。6月にはもう35.2℃にはね上がり、広報から熱射病注意報を流して市民に呼びかけていた。

毎年どうして多治見が？もっとほかのことで日本一になればと不思議に思っている時、メディアからこんなことが伝わってきた。それは四方山に囲まれ盆地になっていて、隣には大都市名古屋がある。温暖化によって名古屋の暖かい空気が空から山を越え、盆地である多治見に流れて来るのが一番の原因だと。

これを聞く前は、測定的位置がわるいとか、測定の仕方が問題だとか言っていた。これを知って盆地に住んでいる私は恨みをどこに持っていけばよいかと考える。名古屋市がどうと言うわけではないが、今世界中に温暖化が進んでいると言われている。海の水位が上がってきているとか、地形が変形しているとか、万年雪が少ないとか聞く。

私にとって今多治見から転出するわけにもいかず、今年も7、8月は忍の月になりそうです。

SLAの会員の皆さん、一度温暖化について一寸考えてみてください。そして良い方法や考えがありましたら、SLA通信にのせて知らせていただければ有難いです。

次は田中芳雄さんをお願いします。



聞いたことありますか？「ロハス」という言葉

「ロハス」とは、

“Lifestyle Of Health And Sustainability”

の頭文字をとった造語で、「ココロとカラダ、地球にやさしいライフスタイル」を表す言葉です。

欧米で新しいライフスタイルの価値観として注目されています。

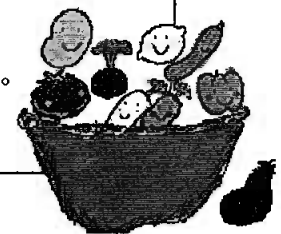
健康的なライフスタイルを目指し、同時に地球環境や自然保護に気を遣う人達や生き方をロハス(LOHAS)志向と呼んでいます。

『ロハス』からイメージできる言葉に『スローライフ』があります。

ゆっくり生きようというライフスタイル。

例えば、ファストフードの対義語の、スローフードがあるようなライフスタイルのこと。

とどのつまり、悠々自適ということでしょうか？



SLA ●シニアの生き生きライフを支援する
中部シニアライフアドバイザー協会